



NEWS LETTER

男女共同参画の
推進に向けて

名古屋市立大学男女共同参画推進センター ニュースレター Vol.11

発行

名古屋市立大学男女共同参画推進センター 〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
TEL:052-853-8577/FAX:052-853-8588/E-MAIL:sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
URL:http://www.nagoya-cu.ac.jp/sankaku/

2014年6月

NEWS

男女共同参画推進センターが発足しました

2014年4月から「男女共同参画推進センター」が始動しました。センターではこれまで男女共同参画室・女性研究者支援室が行ってきた取組を引き継ぎつつ、学生に対する取組や病院との連携など新たな課題にも取り組んでいきます。

男女共同参画推進センターとは・・・

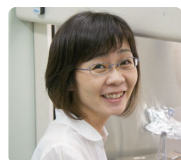


男女共同参画推進センター長
井上泰夫

この4月に理事として男女共同参画推進センター長の責を受け継ぎました井上です。まだ数か月経過しただけの新米ですが、大学内外のみなさんよろしくお願いたします。冒頭恐縮ですが、本学の男女共同参画推進センターがどこにあるのか、そして、どなたがおられるのか、不案内の方もおられると思います。私も3月までその一人でした。同センターは桜山(川澄)キャンパス西棟3階の西側にあります。暗い階段と廊下を歩いたその先にあります。あのサクラサイドテラスの上と言ったほうがわかりやすいでしょう。そしてセンターにはこのニュースレターで自己紹介されている2人の若手研究者(特任助教)佐藤洋子、新ヶ江章友両先生が、センターの実質的な運営を担当されています。さらに、ワーク・ライフ・バランス相談員の木下さんの相談室も開設されています。そして、センターは各部局の代表から構成される運営委員会によって機能しています。

今年度は文科省の補助事業について報告を作成し、来年度以降の活動計画を立案することになっています。私の基本的なスタンスは、ジェンダーフリーな経済社会の構築に貢献することにあります。これまでの本学における先人たちの積み重ねた努力を踏まえて、一過性に終わらない、粘り強い活動を目指しています。そのための方法は、日常の不都合を見逃さないで、絶えず改善、改良することにあります。この点についてとくに大学内外からさまざまなアドバイス、ご意見を願いたします。

センター員紹介



センター員
太田里永子(医学研究科助教)
妊娠・出産・育児・介護などで働き方を変えざるを得ない人へ、真に必要な支援が届くように考えていきたいと思っております。



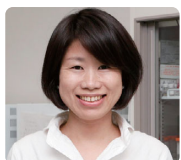
センター員
尹奎英(芸術工学研究科准教授)
小学5年生と幼稚園児を持つ二児のパパです。男女共同参画ってなんだか大変そうな印象を受けますが、日ごろの経験を活かしながらコツコツと前に進めていきたいですね。



センター特任助教
佐藤洋子
名市大の男女共同参画に携わり早4年になります。今年はみなさんにもっと身近にセンターを感じてもらえるような取組を多く行いたいと思いますのでご期待ください。



副センター長
濱口泰代(経済学研究科准教授)
仕事と子育ての両方を幸せにできるような職場環境について、部局の違い、年齢の違い、性別の違いを超えて、みなさんと考えていきたいと思っております。



センター員
豊玉彰子(薬学研究科講師)
本年度、本学男女共同参画推進センターのセンター員となりました薬学研究科講師の豊玉彰子と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



センター員
村瀬香(システム自然科学研究科准教授)
男女共同参画の推進は、各個人が、自分の利益を超えて、どれほど他者のために貢献出来るか、という事に尽きると思います。透明性の高い、健全な組織作りについて考える毎日です。



センター特任助教
新ヶ江章友
名市大の教職員が働きやすい職場環境を構築していくことこそが、本センターの第一の使命だと考えています。どんな小さなことでもよいので、ぜひお話を聞かせ下さい。



副センター長
高田理佳(看護学部准教授)
価値観が多様化している今日、どのように仕事とプライベートを楽しむかは人それぞれです。仕事も楽しめるような職場環境となるよう、お手伝いしたいと思っています。



センター員
中川敦子(人間文化研究科教授)
結婚している人もいない人も、子どもがいる人もいない人も、いろんな人が「自分が心地よい」ワーク・ライフ・バランスを保てるというあって思っています。



センター員
平岡翠(副病院長・学長補佐)
病院を担当します。副病院長・看護部長の平岡翠です。病院には医師、技術職、事務職と様々な職員がいます。今年度は、職種を超え男女共同参画に対する意識の向上に努めます。



ワーク・ライフ・バランス相談室相談員
木下薫
仕事と子育て、介護、プライベートとの両立などについて、気軽におしゃべりにいらしてください。両立カフェやリラックスヨガ教室などへのご参加もお待ちしております。

各部局で男女共同参画に関する目標(26～27年度)と行動計画(26年度)を策定しました。
この目標・行動計画に沿って、全学で男女共同参画の推進に取り組みます。

医学研究科

● 目標

- ▶ 教員の結婚・出産・育児による退職者について引き続き0人を維持する。
- ▶ 教員公募において女性の応募数を増やす。

● 行動計画

- ▶ 女性教員を支援するための情報リソースを提供する。
- ▶ 教員公募の文書に『本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、男女共同参画を推進しています。』との文言を入れる。

経済学研究科

● 目標

- ▶ 女性教員の採用・昇任を促すための条件整備を行う。
- ▶ 仕事と家庭の両立を可能とする労働環境の整備を行う。

● 行動計画

- ▶ 教員公募の際、女性研究者の積極的応募を歓迎する旨の文章を付加する。
- ▶ 教授昇任基準における教育経験年数に、育児休業期間を含める。
- ▶ 育児休業期間においても、研究者としての地位を保持するために必要な研究活動経費の使用を認める。
- ▶ 学外研修の理由として、子どもの養育上、あるいは親の介護上、自宅で研究や教育を行うことの必要性を認める。
- ▶ 男性教員に対して、育児と就業の両立支援制度に関する情報の発信を積極的に行う。

芸術工学研究科

● 目標

- ▶ 教員公募における女性の応募数を増やす。
- ▶ 教員及び学生の男女共同参画について意識向上を目指す。

● 行動計画

- ▶ 教員公募において、公募文書に「男女参画を積極的に推進しています。」という文言を盛り込む。
- ▶ 学内の教員・学生を対象とする研修を行う。

薬学研究科

● 目標

- ▶ 女性教員採用時の優遇措置を設ける。
- ▶ 女性研究者を育成する。
- ▶ 女性研究者候補の層を厚くする。女性の博士課程、博士後期課程への進学を促す。
- ▶ 女性教員のキャリアパスを支援する。

● 行動計画

- ▶ 女性教員を採用した場合、研究費等の優遇処置の拡大を大学に要求する。公募時に明記し、女性応募者の増加を図る。
- ▶ 女性教員、研究者として働く女性の卒業生、大学院生、学部学生を対象とする情報交換の場を設け、薬学研究科はこれを支援する。
- ▶ 博士課程、博士後期課程の学生への経済的支援を行う。
- ▶ 教員を目指す優秀な博士課程・博士後期課程の女性修士について、教員として採用されるまでの待機期間として、女性限定の特任助教の雇用を大学に要求する。
- ▶ 研究者としての業績の向上と研究職への就職を支援する。

システム自然科学研究科

● 目標

- ▶ 男女共同参画に関する意識の向上。

● 行動計画

- ▶ 名古屋市立大学システム自然科学研究科の中で、子育てや、共働きの経験のある先生に講師をお願いして、セミナーを開催する。子育てや、共働きの経験から得た教訓やアドバイスについて話題提供していただき、議論する。

人間文化研究科

● 目標

- ▶ 女性教授比率(33.3%)、女性教員比率(32.6%)を維持するとともに、各比率の上昇を目指す。
- ▶ 子育てや介護などで困難を抱える教員の状況を理解し合い、業務の適正な配分を行うと同時に業績評価においても配慮する。

● 行動計画

- ▶ 女性教員の採用に努力する。
- ▶ 女性教員の教授昇進を進める。
- ▶ 子育てや介護などで困難を抱える教員に対して業務の軽減などをはかる。
- ▶ 部局内の会議は全て17時までに終了させると同時に、業務運営の効率化により、会議の回数を減らす。

看護学部

● 目標

- ▶ 女性男性にかかわらず、無理なく、長期間働き続けられる職場環境を整備する。

● 行動計画

- ▶ 男性教員が増えた助教の共同研究室を整備し、男性・女性教員のいずれも快適に働ける環境を作る。
- ▶ 公的な会議を18時までに終了する。

事務局

● 目標

- ▶ 将来の女性役職者の登用に向け、法人固有の事務職員を対象とした係長昇任選考について、受験資格を有する女性職員の受験を促進するとともに、女性職員の昇任意欲やスキルの向上に努める。

● 行動計画

- ▶ 受験資格を有する職員に対する制度紹介や所属長を通じた受験勧奨などを通じて、より多くの受験者を募る。
- ▶ 昨年度末に実施した「係長昇任に関するアンケート」において、「受験しない理由」として「部下指導・他部署との調整など職責を果たす自信がない」という回答が多かったことを踏まえ、中堅職員に対する必要な研修の実施、女性職員の能力の積極的な活用を図る。

総合情報センター

● 目標

- ▶ 男女共同参画に関する資料展示を通して、学生・教職員への意識啓発につなげる。

● 行動計画

- ▶ 図書館において、女性問題を扱った資料を展示し、HPに展示資料リストを公開する。
- ▶ 愛知県の定める男女共同参画月間である10月に行う。

病院

● 目標

- ▶ 病院全体で男女共同参画にかかる意識向上を図る。

● 行動計画

- ▶ 男女共同参画について研修の機会を設け、各職種の課題を洗い出し、課題解決に向けた活動を決定し、実行する。

女性研究者ランチミーティング



4月24日(木)に桜山キャンパスでランチミーティングを開催し、さまざまな所属から、初参加者3名を含む8名が参加しました。参加者には4月に名市大に赴任してきた方、働きながら大学院進学を希望する方など、この春新しい状況に踏み出した方、踏み出そうとする方が多く、互いに話すことで前向きになれる会となりました。

両立カフェ



仕事や学業と、ほかの「何か」との両立をめざす方ならどなたでも歓迎の両立カフェ。第1回の5月23日(金)には、10名の教職員、学生が参加しました。子育て、地域おこしボランティア、エクササイズ、就活など、いろいろな両立エピソードを共有。ポケモンとともに成長してきた学生世代との対話は、30代以上の参加者にとってはとても新鮮でした。

リラックスヨガ教室



昨年から継続して開催しているリラックスヨガ教室。毎回5名から10名の教職員、学生の参加があります。5月終わりから6月半ばは、「5つの立ちポーズ」を中心に練習。ひざや肩が弱い方のために、負荷の少ないバージョンのポーズも用意しています。椅子を使用したバージョンは、職場でもできそう!と喜ばれています。初めての方もどうぞ。

滝子キャンパスにおむつ交換台を設置しました

滝子キャンパス5号館1階の多目的トイレにおむつ交換台を設置しました。本学の教職員や学生はもちろん市民の方にもご利用いただけます。お気軽にご利用ください。また教職員や学生が働きやすい、学びやすい環境づくりに向けたご意見をお待ちしています。



次回リラックスヨガ教室のご案内

リラックスヨガ教室

～冷房で冷えすぎないために～

【日時】 6/25(水)、7/1(火)、7/3(木)、
7/8(火)、7/14(月)
12時10分～12時50分

【場所】 桜山キャンパス
西棟2階看護学部演習室A

【対象者】 本学の教職員、学生

【事前申込】 不要

さくらんぼ保育所だより

また新たな1年が始まりました

3月から4月にかけて、卒園児たちを見送り新入園児たちを迎え、新たな1年が始まりました。新しいクラスの友だちとも一緒に時間を積み重ねる中で、笑顔を共有し合う姿が増えてきており、職員としても嬉しく思っているところです。人文社会学部の学生の皆さんの保育参加もあり、子ども達はちょっと緊張もありつつ、お姉さん・お兄さんとの時間を楽しんでいます。今年度も、どうぞよろしくお願いたします。



そら豆でクッキングをしたよ

第26回愛知サマーセミナーに 男女共同参画推進センターが参加します

2014年7月20日(日)・21日(月・祝)

2014年7月19日(土)～21日(月・祝)の3日間、愛知サマーセミナーが開催されます。20日と21日の2日間は、名古屋市立大学の滝子(山の畑)キャンパスを会場として開催されます。

愛知サマーセミナーとは、20年以上続いている地域市民と学校が連携して行う地域参加型のイベントで、毎年2000近くの講義が開講されます。「誰でも先生、誰でも生徒、どこでも学校」というキャッチフレーズのもと、昨年は6万人以上の参加がありました。今年度は、宇宙飛行士の山崎直子さんを校長に、下村文部科学大臣、タレントの杉本彩さん、教育評論家の尾木直樹さんをはじめ、たくさんのお客さんが参加します。

男女共同参画推進センターでも、二つのイベントに参加します。一つは、本学で開講されている教養教育科目「地域社会における男女共同参画をめざして」をオムニバスで担当している4名の講師による連続講義、もう一つは、中高生の理系進路選択支援プロジェクトで、理系進路を選択しようかどうか迷っている中高生を対象に、ロールモデルとなる先生や大学生との交流の機会をもちます。

地域社会における男女共同参画をめざして(連続講義)

アメリカ合衆国の女性運動の歴史

(新ヶ江章友・男女共同参画推進センター)

7月21日(月・祝)9:30～10:50 教養教育棟103

女の仕事と男の仕事～仕事とジェンダーの深い関係～

(佐藤洋子・男女共同参画推進センター)

7月21日(月・祝)11:10～12:30 教養教育棟103

愛知の若者就労事情

(重原惇子・特定非営利活動法人参画プラネット)

7月21日(月・祝)13:10～14:30 教養教育棟103

性同一性障害、性的マイノリティの権利

(安間優希・NPO法人Proud Life)

7月21日(月・祝)14:50～16:10 教養教育棟103

中高生の理系進路選択支援プロジェクト

本学教員と大学生が、理系に進もうかどうか迷っている中高生を強力にバックアップ。教員と大学生が中高生の立場になって、いろいろな悩みに応えます。

(築地仁美先生(薬学研究科)、薬学研究科男女共同参画セミナー実行委員他)

7月20日(日)9:30～10:50 教養教育棟103

小学生サマースクール参加者募集 お子さんやお孫さんに、大学で夏休みを過ごす貴重な経験はいかがですか？

【日時】8月6日(水)、7日(木)、8日(金) 午前8時30分から午後5時30分

【場所】8月6日、7日:山の畑キャンパス1号館/8月8日:桜山キャンパス西棟、名古屋都市センター(金山) ※詳細は後日お知らせします。

【対象者】本学の教職員、学生の家庭の子ども(小1から小6)

【定員】各日15名程度(先着順) 【参加費】①子ども1名につき1,000円/日(傷害保険代込) ②生協での昼食代(実費)

【事前申込】要 【締切】7月18日(金)午後5時必着

【申込方法】男女共同参画推進センターのウェブサイト(www.nagoya-cu.ac.jp/sankaku/)上にあるリンクから参加申込書を印刷し、必要事項を記入、署名の上、メール、ファクス、学内便、または持参で男女共同参画推進センターまでお送りください。

第2回名古屋市立大学男女共同参画奨励賞の募集について

名古屋市立大学では、公立大学法人名古屋市立大学男女共同参画宣言の趣旨に鑑み、男女共同参画社会の実現に関連する優れた研究・活動等を行っている本学の教職員および学生を表彰する「名古屋市立大学男女共同参画奨励賞」を設けています。このたび第2回奨励賞の募集を行いますのでふるってご応募ください。応募は8月以降に行う予定です。応募詳細は男女共同参画推進センターのウェブサイトでも周知いたします。

【対象者】本学に在籍する個人・グループ・組織が対象(自薦・他薦可)。

【応募内容】男女共同参画に関連した研究(過去2年以内に発表された論文、報告書、著書が対象)、あるいは男女共同参画に関連した社会的・教育的活動(過去2年以内から現在進行中のものまで)。

【表彰の方法】男女共同参画推進センターが主催するシンポジウム等において表彰式を実施し、表彰状と記念品を授与するとともに、受賞者はその席において研究・活動内容についての報告を行う。

【申請受付期間】本学に在籍する個人・グループ・組織が対象(自薦・他薦可)。